

塩竈市立病院事業調査審議会

会 議 録

(令和6年3月7日)

塩 竈 市 立 病 院

塩竈市立病院新改革プラン評価委員会

日 時 令和6年3月7日（金）18:30～

場 所 塩竈市立病院3階 会議室

次 第

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 報 告 (1) 第6回事業調査審議会からの経過について 資料1

(2) パブリックコメント結果について 資料1

4. 議 事 (1) 塩竈市立病院経営強化プラン答申(案)について

① 修正箇所について 資料2

② 答申(案)について 資料3 資料4

5. そ の 他

6. 閉 会

【出席者】

《委員（8名）》

本郷道夫（東北大学名誉教授）

赤石隆（宮城県塩釜医師会会長）

遠藤圭（宮城県保健福祉部医療政策課長）

代理出席 土谷芳和（宮城県保健福祉部医療政策専門監）

西條尚男（宮城県仙台保健福祉事務所保健医療監・塩釜保健所所長）

中嶋満枝（市民代表）

小野憲幸（市民代表）

千葉幸太郎（塩竈市副市長）

福原賢治（塩竈市立病院事業管理者）

《欠席委員（2名）》

大井嗣和（宮城県塩釜医師会副会長）

佐藤賢一（東北医科薬科大学病院 病院長）

《事務局など》

真野浩（院長代行）

佐藤正幸（副院長兼地域医療連携センター長）

蜂谷真紀（看護部長兼地域医療連携センター副センター長）

鈴木康弘（事務部長）

平塚博之（経営改革室長兼業務課長）

庄司晃（医事課長）

堀江佳弘（業務課総務係長）

高橋茂仁（経営改革室係長兼業務課経理係長）

渡辺美香（経営改革室主査兼業務課経理係主査）

《傍聴者》 8名

《報道》 なし

1. 開会

ただいまから、塩竈市立病院事業調査審議会を開催いたします。

2. 会長挨拶

○本郷会長（開会あいさつ）

皆さんお晩でございます。着座でお話しさせていただきます。

最近の医療界の状況を見ていると、気になるのはやはり働き方改革です。これは、医療界だけではなく、いろいろなところで働き方改革によって人手不足というか、働き手不足が起こるのではないかとされています。病院の方はとりあえずいろいろ対策が立ったものの、これが浸透していくと、あと5年10年経つと、今やろうとしている付け焼刃に近いような対策が効かなくなってきて、本当に人手不足になってしまうのではないかと、とても心配なところであります。

あともう一つ心配なのは、診療報酬改定が果たしてこの中小病院にどんな影響を与えるのかという点です。その診療報酬改定の前にもっと大変なのは、物価高騰でいろいろなところに、また病院経営に様々な影響を与えている。ここで、今日経営強化プランを立てていっても本当にカバーできるのかなという、そういう心配もあるのですが、まずは今日はここまで練り上げてきたプランについて、皆さんのご意見を伺っていきたいと思います。

よろしければ、これから議事の方を進めていただきたいと思います。進めてよろしいですか。それでは次第の3の報告事項です。(1)第6回事業調査審議会からの経過から、そして(2)パブリックコメントの結果について、事務局から一括で説明をお願いします。

3. 報告

(1) 第6回事業調査審議会からの経過について

(2) パブリックコメント結果について

レジメに基づき事務局より説明。

○本郷会長

はい。事務局からの説明は以上ですが、非常に準備を慎重に重ねて、そして市内12カ所での閲覧、そしてホームページの閲覧という努力をしていただいたのですが、残念ながら経営強化プランに対する意見が出て来なかったという事でした。ちょっと残念なところではありますが、ご意見がなかったという事は、このプランについて大きな反対意見といった事がなかったと解釈をしていいのかなと思います。それで、このプランの内容につきまして、県の方で地域医療構想調整会議を受けてプランが整合するという事のご確認をいただいたところでございます。細かな修正点が4件あったと聞いておりますが、それにつきましては後程事務局からの説明がございまして、委員の皆様からございますでしょうか。

市民からのパブリック意見なかったっていうところもあるのですが。

○中嶋委員

いろいろな所に顔を出しているのですが、そういう事をやっているという事に気付かなかったというのがアンテナが低くて申し訳ありません。だから、これで良いと思っている方と気付かない人の方が多いのかなと思ったりしています。

○本郷会長

ここで実施していますという、なんか大きな見出し等。

○中嶋委員

そうそう、何かね、そういうアピールがあると良かったですね。

○本郷会長

そういうPRを、もうちょっと目立つ事を、次回パブコメを実施する時に、意見募集中というのを。ひっそりと実施しているのではないかという。どんな風に掲示していたのかは、私は見えないので分かりませんが。何かそういうアピールはしていたのですか、工夫は。

○事務局

こちらにつきましては、各施設と市役所の玄関口等の一番目立つところと思われる場所に配置

をして、壁にA4でパブリックコメント募集中と掲示しておりました。

ちょうど時期的にも重なって、他に3件のパブリックコメントがあつて数が多かつたといった部分も影響はあつたと思います。ちなみに、ホームページに掲載したプランの閲覧者数ですが、こちらは100名の方が閲覧しております。100名がいて159回閲覧されていたという状況がございました。以上です。

○本郷会長

はいA4だとちょっと小さい。次回、そこ何か工夫をお願いします。

他にございますか。

では、次の4の塩竈市立病院経営強化プラン答申(案)について、修正についてのご指摘がある事、そして答申(案)について、資料2、資料3、資料4の説明をお願いします。まず最初に①の修正箇所について事務局から説明をお願いします。

4. 議事

(1) 塩竈市立病院経営強化プラン答申(案)について

① 修正箇所について

レジメに基づき事務局より説明。

○本郷会長

はい。事務局からの説明ありがとうございます。

駆け足でどんどん進んでいきましたけど、何か質問がございますでしょうか。この修正点は新しい資料に入れ替えての資料ですが、ございますか。

○土谷氏(代理出席)

はい、県の方から4カ所ほど修正をお願いいたしまして、全て反映していただきましてありがとうございます。ただ、中身はもう全部、要望であつたり軽微なものだけでございました。

それに先立って、最初にご説明いただきましたように、地域医療構想調整会議の方に塩竈市立病院としてのプランについて、地域医療構想に沿っているという形でご紹介いただいているとこ

ろです。非常に限られた時間で、こちらの計画の方をしっかりとまとめていただいたと受け止めております。ありがとうございました。

○本郷会長

ありがとうございます。何かご意見でございますでしょうか。

では、答申案について資料3と資料4になります。事務局からの説明をお願いいたします。

4. 議事

(1) 塩竈市立病院経営強化プラン答申(案)について

② 答申(案)について

レジメに基づき事務局より説明。

○本郷会長

ありがとうございます。この強化プランの内容については、これまでご審議いただいた内容で、細かい数値の調整はございました。

全体を通じて、答申とこの経営強化プランについて委員の皆様からのご意見を伺いたいと思います。塩竈市立病院の、いろいろなところ、大事なところは多くありますが、建物について福原先生と市長の間で何か話が進みましたか。

○福原委員

はい、今回の令和6年度の予算委員会の中では、市が抱えている重点課題がいくつかあるのですが、その中でごみ焼却施設それから市役所庁舎を建て替えるという事をまずやりましょうという方針が出ております。病院に関しては、予算委員会の中では決して後回しにしたわけではないという事でしたけれども、令和6年度の予算がつかせませんでしたので、実質的にはそのような形になっているのかなと大変残念に思っているところです。

○本郷会長

長期的な事で何かお話はありましたか。

○福原委員

市の財政状況というのをちょっと見せていただいたのですが、今お話した3つの事業の中で市の財政に影響が一番少ないのが病院事業かなと思っておりましたので、今回の決定がこのような形になったのは非常に残念に思っているところです。

○本郷会長

はい、それはまたいろいろな形で市に働きかけ続けていく必要があると思います。

全体を通して、委員の先生方からご意見をいただきたいと思いますが、また順番に赤石委員。

○赤石委員

基本的な事ですみません。答申して、これが即実行されるという事にはならないのですか。答申されたら、例えば病院以外の市役所の人たちが動く事になるのかどうか、答申の強制力について伺いたいのですけれど。

○千葉委員

この病院に限らず様々な審議会がありますが、諮問して答申いただくと基本的には尊重という形になります。そのプランに掲載されている内容を尊重した上で、例えば一般会計からの繰出金でありますとか、そういったものは対応するという建前になります。ただ、一方で市当局の財政の制約はありますので、お金が多額に掛かる部分については、その都度の議論にはなるのですが、あくまで答申内容を尊重するという事には変わりはないという形になります。内容を違えるような時には、病院や管理者へご相談しながらという形になります。年に1回の評価・点検もございしますので、そういった時に逆に先生方からご指摘やご助言いただきながらという形になるかと思いますが、基本は答申を尊重するという形で。

○本郷会長

今、いろいろなお話が出ましたけど、ゴミ焼却事業とか病院事業という話がでましたが、病院事業はこの経営強化プランでも二市三町というのが基本にあって、ところが財政負担は塩竈市だけという、そこの捻れを解決する方法というのはいないのですか。

○千葉委員

市議会の議員の皆様からも、利用実態は6割強ぐらいが塩竈市民で、逆に言うとそれ以外は周辺市町村中心にご利用いただいているといった事で話があります。例えば休日急患センターは二市三町で負担しあいながら運営いただいているのですけれども、本市の市立病院には歴史があるという事が裏目という大変ですけれども、単独で整備してスタートしたものですから、その後に利用者の居住地に応じて、例えばご負担いただくという事に対しては、周辺は非常に否定的で、逆に患者を送って経営を支えてあげているっていうような言い方を私も実際受けていますので、よほど理論武装等を考えなくてはいけないと思っています。それから、皆さんから異口同音に言われるのは公的病院としては、近くに坂病院がある中で市立病院が公立だからといって、公立病院だけを負担するという事は難しいのではないかといった事も言われております。

本市の市長は、そういったものは初めから諦めるという事ではなくて、ご理解をいただきながら、例えば全体の中でも救急医療については政策的医療の要請度が高いという事で、理解いただけるところから、全部ではなくても部門という事で負担いただける方向性を見出すというのは、我々としては努力をしたい。ただ非常に難しいかなとは思っております。

○本郷会長

その辺、県とか総務省からの指導というのはないのですかね。

○土谷氏

基本的に、公営企業会計を全部適用しているという事で、実際において必要な繰り出しをしてもらうという事が大前提になっていると思います。それに対して、様々な交付税措置がされるという制度があります。とは言え、救急医療をはじめ政策的医療を担っていただいているという事については、県でも、国の財源に多くを求めてはいますけれども、様々な支援メニューというのは用意させていただいております。

○本郷会長

あと他にご意見はありますか。中嶋さん。

○中嶋委員

私は、これを全部拝見しまして具体的な、例えば17ページとか20ページのところで先ほど説明はさらっとこう全部いきましたけれども。

私、市民として、こちらに受診している一市民として、外来受診した時に、今、専門科が予約制になってまいるので、とても専門性は深まってきているブースが多いんじゃないかなっていうふうに思っています。ただ、市民の健康を担うという事で専門性以外の、例えば塩竈市の癌罹患率だとかそういう事を鑑みた時に、その専門的な数値の追いかけてこはいいのですが、それ以外に自分の気付かなかった点を病院に来た時に教えて欲しい。そういうようなシステムがあるといいなと思います。毎回来ているのですけれども、市の検診の際などに、大腸癌とかそういうような市立病院の得意とする内視鏡検査を年に一回やっていますかという一声や、もし受診していなかったら受診してみてもどうですかというような声かけをしてもいいのではないかなと思います。ただ、外来の先生方は大変お忙しい。働き方改革とか何とかの影響で、先生が全部それを申し込みから何から全部チェックしていたら、本当に待ち時間がとても長くなるんじゃないかなとおもいます。だから、先生はもちろん指示を出すのですが、先生はボタンひとつポチッとすれば済むような、皆さんの協力体制ができれば先生の負担はないのではないかな。患者としては先生に負担をかけては申し訳ないっていう気持ちがすごく強いので、そういうような工夫をしてもらえたらありがたいなと思います。

○本郷会長

システムより、患者向けの広報誌みたいな物を毎月作って、そこにそういう情報が書いてあると早いかもしれないですね。ホームページだと、ここに来る患者さんはご高齢者が多く、見ていないのでほとんど。

○中嶋委員

そうした時に、先生への負担を本当に減らすような周りのサポート体制というか、そういう工夫があると良いのではないかなと思います。

○本郷会長

それは結局、別のところのそういう新しい試みもありますね。

○中嶋委員

数字が増えてくるのではないかなと思うんですね。

○中嶋委員

あともう一つ、21ページの看護師の確保というところで、そういうふうにされているのがすごく分かるのですが、看護学校を訪問したりいろいろ努力されていると思うのですが、将来を担う中学生とか高校生に対して、学校に出向くとか市立病院に来てもらうとか、体験学習のようにもうちょっとなんかこう公立病院としてPRしてもらいたい。子供たちに市立病院に来てもらって、みんなで働いている姿を見せたり、すごくいい思い出をいっぱい体験してもらう事で、その子供たちが将来の夢を、まだ看護学校目指す年齢ではないような子供でも、これから将来する時に看護師になってもいいなと思ったり、少し長いスパンですけれどもそう思ったりして欲しい。あと、その子供が家に帰った時に、市立病院ではこんな事やっててねすごく良いんだよ。良い先生もいたし、良い看護師さんもいたしとか、そういうPRにもなるのではないかなという事を見込めます。看護学校だけではなくて、高校生、中学生等にも、小学生もですが、PRしたら良いのかなと思いました。具体的な数値の話じゃなくてすみません。

○福原委員

今看護部長がいろいろな形で看護師の確保に努めております。今、委員からご指摘いただいた事は、もちろん以前はやっておりましたけれども、やはりコロナ禍が非常に大きく影響しており、院内の感染リスクが高まるのも困りますし、逆に来てくれた人たちが感染するというのもまた困るという事で、なかなか今の病院の中で行う事が難しいと考えています。ですので、医療というのはこういうものですよ、看護というのはこういうものですよというのを、別の機会でアナウンスするとか、そういう試みが必要なのかなと思います。

○本郷会長

なんか、もうそろそろ動いてもいいかなと。

○赤石委員

今のご意見は、塩釜医師会として採用させていただきたいと思います。

若い世代の宣伝というのは、ちょっと考えさせていただきたいと思います。どうもありがとうございます。

○本郷会長

今までコロナ対策で全部の活動が縮こまっていたけれど、活動を活発に実施していいような感じがしますけど。

では、小野さん。

○小野委員

はい、感想等になるのですけれども、例えば17ページの地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割機能というところでは、やはり入退院のところでは比較的連携が取れているのですけれども、外来患者さんの方でもすぐに看護師さんの方からちょっと気になる患者さんがいるとご連絡を最近していただけるようになりました。助かっておりまして、ありがとうございます。入院している方だと連携をとりやすいのですけれども、やはり外来の方だとなかなかちょっと難しいところもあります。結構頑固な患者さんというか高齢者の方も結構多かったですけれども、病院の方から連絡してもらえると、結構スムーズに医療につながったりとか、他のサービスに繋がったりという事もあるので。大変お忙しい中ではあると思いますが、もし良ければまた継続して連携していただけると大変ありがたいなというところを思っておりました。

あとは21ページの住民理解のための取り組みというところで、今、公開セミナーはコロナの影響で実施していませんよね。コロナの前だったら住民が凄く喜んで多数参加されていると思うのですが、やはり健康寿命を延ばすっていうところでも普及啓発という動きを、もしよろしければまた再開して欲しいというところもあります。

あとは、もちろん慈善事業ではないのですけれども、結構、地域の方が集まっているサロンだったりいろいろな場所があるのですが、そういったところに出向いていただきたい。市立病院さんには優秀な人材が大勢いらっしゃるかと思いますので、お医者さんが来て欲しいというのはなかなか難しいと思うのですけれども、看護師さんとかリハビリの方がちょっと地域の方に出向いていただいて、健康に対してちょっと講話をしていただいたりとか、そういったところも公立病院としてご協力いただけると、住民の理解も広がって受診にもつながりやすい事もあるのかなと思います。もし可能であれば、そういった住民向けの普及啓発とか、地域の方に出向いてもらえ

るところも、もし今後やっていただければ大変ありがたいなというところで考えておりました。

○福原委員

はい。公開セミナーに関してなのですけれども、今回のこのような形で経営強化プランが出ますので、この内容について説明する機会を年度が変わったところでセミナーを開催したいと考えています。

それから、ご指摘頂いた外来の看護師に普段迎えられて診療に来られる患者さんの変化というものに気づくようにという事を看護部で一生懸命やっております、そしてその試みは今ご指摘いただいた内容につながっているのかなと非常に嬉しく思いました。ありがとうございます。

これは、やはり入院患者だけではなくて当院を利用していただいている方、一人ひとりにそういう目を向けていくという事が大事なのかなと考えているところです。これからも、その取り組みを続けていこうと考えております。

○本郷会長

はい、出前講座みたいなのは、住民の人が一番喜ぶ取り組みですね。

○福原委員

そうですね。あと以前は講義等も実施していました。地区の集会所のようなところでお話をしたり、そういう事も以前は実施していたのですけれども、最近やはり途切れてしまいました。

やはり、これも医師不足が非常に影響してしまっていて、なかなかマンパワーがないと継続できないのと考えています。

○本郷会長

はい。では、あとは県の方から何かございますか。

○土谷氏

はい。申し上げましたけれども、地域包括ケアの部分というのは本県の新しい医療計画の方で非常に大きな部分と考えております。市立病院は地域包括ケア病棟、医療の方向、この地域の回復期あるいは医療の役割を担っていただくというところが、非常に市民の人が期待されていると

思いますので、その方法というのはしっかりと取り組んでいただければと思います。

○本郷会長

はい。西條委員。

○西條委員

経営強化プランをしっかりと修正、ブラッシュアップしていただいたなと思います。

その中で、21 ページから 22 ページの今までの話題が出ています。医師、看護師の確保というところで 22 ページで医師に特化した話をしてしています。22 ページの (3) です。常勤医師以外の医師の派遣の件については、現状ではここ数年は見通しが立っているというような話を前回いただきました。将来的には、派遣元の動向によっていかようになるのかなという状況もあると私は思います。21 ページの若手医師を確保する事について考えますと、派遣された若手医師が、この職場に正職員として残るような魅力的な職場づくりというか、医師だけじゃないと思いますが、今後そういったような改革がされればいいかなと思っておりました。以上です。

○本郷会長

はい、ありがとうございます。副市長にもお話していただいてよろしいでしょうか。

○千葉委員

皆さんのお話を受けて 3 点、開設者側という形でお話したいと思います。まず、11 ページに一番下の表で救急搬送の受け入れ状況の推移がでております。コロナ禍の中で、塩竈市立病院が搬送者の受け入れ割合がどんどん高まっていると。私もなぜこんなに高まるかと思えば、坂病院さんが、いろいろなご事情あるのでしょうかけれども、受け入れを抑制していたといった事もあって、市立病院の受け入れが多くなっていった。こういった部分については、市民の皆さん、それから先ほど一市三町の負担の話もありましたが、そういった理解をいただく上でデータできちんと示していかないと難しいのかなと思って、まずこのページ見えています。

同様に 21 ページの (6) に、住民理解のための取り組みという事で、市立病院が行う事っていう事でここには表記があるのですけれども、開設者としても、医療の今置かれている状況というものが、私は以前県の医療政策課におりましたけれども、自治体が今の医療の状況というのを住

民向けに説明するかって言われるとありません。あくまで医療関係者に対してはご説明をしているのですけれども、かかりつけ医があってそこからご紹介を受けてとか、そういった事を一般の方向けに説明した事はなくて、そういった事がいろいろな理解に繋がらないという事にもなっているのかなと思うので、病院だけという事よりは開設者側としても一緒になって、こういった住民理解を得るための努力が必要だと思っております。市としては、国保の医療とか後期高齢者も展開しています。そういった中で、市町村単位で見た場合の一人当たりの医療費は平均を上回っていますので、予防も含めて住民のみなさんにアプローチする開設者としてもあるのかなと思います。

あと最後に、24 ページに施設設備の最適化という事で、最終的には建替の話につながっていくのですけれども、先ほどの看護師、医師の確保も含めてやはり新しい施設で、新しい機器の下で取り組むという事になればその環境で働いてみたいというのは当然起こり得ると思います。私共は市役所の庁舎建て替えを焼却設備の施設の後に採用しているのですけれども、今、若い方が減って担い手不足の中で、医療機関の事例ではありませんが、実は公務員志望者数も劇的に減っています。そういった中で、関東のある市では市役所を建て替えた途端に応募倍率が5倍ぐらい上がったと、ある意味、若い方はそういった働きやすい環境とか、そういったイメージで入ってくる方もやはりいるという事だと思います。この25 ページにあるように経営的観点の部分でも、駐車場の配置も含めていろいろ負担をかけていますし、新しく入る方もですけれども、現在働いていただいているスタッフの皆さんのモチベーションも含めて、少ない人数の中でこういろいろ対応していただいているので、そこは開設者としていろいろ考えていかななくてはいけないのかなと思って、改めて学ぶプランを見ていました。ただ、最終的には建て替えの時期が来ているという表現をお願いしてこういった形になっていると理解していますので、できるだけ他の建て替えの方でコストを抑制しながら早い段階で道筋をお示しできるようにするという事が、開設者に求められている事だと思います。また、同時にその進み具合が、市民の皆さんに対しても説明しながらという事が必要だと思っておりますので、その辺はこころしながら答申を受けて対応させていただきたいと思っております。

○本郷会長

はい、ありがとうございます。

今の話、徳洲会病院が老朽化した建物からピカピカになって、たくさん患者が集まるようにな

ったのですが、同じ事が塩竈市立病院でも起こる事だと思います。

赤石先生、最初の話すぐ終わりにしてしまいましたがよろしいですか。

○赤石委員

徳洲会病院はヘリポート持っていますから、市立病院を建て直す時にヘリポートどうですか。

前に院長先生が、ここの地元のエフエムラジオで何かやっていたんですね。私、実は聞いてないのですが、やっているという事だけは聞いていましたので、そういうのも結構住民の方々にはアピールになるのではないかなと思っておりました。

○福原委員

院長だけではなくて、テーマを決めて交代で実施していた時期がありました。

○赤石委員

コロナが終わったので、再開されたらこういう宣伝は効果が大きいので、例えば医師会がやれたらやりたいぐらいです。ぜひ頑張ってくださいと思います。

○本郷会長

徳洲会病院についてですけど。私は徳洲会の周辺にに住んでいるのですが、2.3 か月に1回チラシが来ます。徳洲会病院のウェブセミナーで、登録するとズームで顔合わせずに受けられる。情報提供というか、患者を呼ぶための手法というのは、これから考えるとアイデアいくらでも出てくると思うので、またそこは病院の方でいろいろ考えていただければと思います。

では、皆さんからご意見を伺いましたけど、他に追加のご質問あるいはご提案ございますでしょうか。

なければ、これで全体をまとめていただきたいと思いますが、今回ご審議いただきました経営強化プラン答申（案）をまず塩竈市長へ答申したいと思います。また、修正に関しましては会長に一任という事でよろしいでしょうか。

以上で今回の審議を終えて、議事進行は事務局にお返しいたします。

○事務局

本総会長そして委員の皆様、大変長い時間ありがとうございました。その他につきましては事務局からは特にございません。皆様から何かございますでしょうか。

○福原委員

最後にご挨拶させていただいてよろしいですか。

皆さんのお力で、今回このような形で経営強化プランができた事、本当にありがたく思っております。心から感謝を申し上げます。それから、大変お忙しい中で令和4年の12月から7回にわたってお集まりいただきまして、本当に貴重な御意見がこのプランの中に盛り込まれたと思っております。

審議会の中でもございましたけれども、やはりこのプランがどのような形で市に受け止めていただけるか、そして共にこの地域の医療を守っていくために、市立病院と市がどのような形で協力していくのかというところに、このプランが非常に役に立つといいと思っております。

本当に長い期間どうもありがとうございました。心より感謝を申し上げて、私の挨拶とさせていただきます。

○事務局

それでは、以上をもちまして第7回塩竈市立病院事業調査審議を終了させていただきます。

以 上

閉会 午後7時32分